②254 6月 10日 ~ 2025年 7月 1日 「企業主評価有効回答数 (対象者数) 6 (図条主数) 6 (図条主数) 7月 1日 「企業主評価有効回答数 (対象者数) 6 (図条主数) 7月 20日 フサド対果 第本所の目み (金) だと思われること まいまで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これ					(別紙3)
2005年 7月 1日 2005年 7月 200日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7月 20日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7日 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7月 1日 2005年 7月 20日 2005年 7日 2005年 7月 20日 2005年 7月		公表	事業所における自己評価総	活表	
投資者が開き効配音数	○事業所名	ポノポノランド			
(対象者対し、対象を放) (対象者数) (対象数) (対象数) (対象数) (対象数) (対象数数) (対象数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	○保護者評価実施期間	:	2025年 6月 10日	~	2025年 7月 1日
2025年 6月 10日	○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
(京楽者型) (京家者型) (京家者之) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京家者の) (京	○従業者評価実施期間	:	2025年 6月 10日	~	2025年 7月 1日
○分析総果	○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
#実所の強み (a) だと思われること ***1 P気性・元実を図ることが関南されること ***	○事業者向け自己評価表作成日	:	2025年 7月 20日		
##が表示のでは、光度を図ることが関係されること ###の問か (毎) だと思われること ###の問か (毎) だと思われること ###所の弱か (๑) だと思われること ###所として考えている認識の要因等 ###所の弱か (๑) だと思われること ###所として考えている認識の要因等 ###所の弱か (๑) だと思われること ###所として考えている認識の要因等 ###所として考えている認識の要因等 ###所といて表しない ###所といて表します などもたちの意見も取り入れるようにしている。 ###所の弱か (๑) だと思われること ###所として考えている認識の要因等 なきに向けて必要な取組やエ夫が必要な点等 ### (カある家族参加型イベントを開催が少な く、魅力ある企画が立てれていない ### (カある家族参加型イベントを開催 する。 ### (カールの対応を見いている) ### (カールの対応を見いている) ### (カールの対応を見いている) ## (カールの対応を見いている) ### (カールの対応を見います) ### (カールの対応を見います) ### (カールの対応を見います) ### (カールの対応を見います) ## (カールの対応を見います) ### (カールの対応を見います) ## (カールの対応を見います) ### (カールの対応を見います) ## (カールの対応を見います) ## (カールの対応を見います) ## (カールの対応を見います) ## (カールの対応を見います) ## (カールの対応を見います) ##	○分析結果				
プーマを特化して活動内容に入れて決めている。 型目には前日に気になった事を話し合いができる環境を設けている。 型目には前日に気になった事を話し合いができる環境を設けている。 型目には前日に気になった事を話し合いができる環境を設けている。 できる会議を設けている。 型目には前日に気になった事を話し合いができる環境を設けている。 「人人一人の対応をPDCAサイクルをまわす。」 1 8歳になった時に自律している姿を意識して支援している。 本事業所の開始(e)だと思われることを事業所として考えている課題の要因等 「実験者間の交流がない。 本事業所の課題や改善が必要だと思われることを事業所として考えている課題の要因等 「な善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 を放着に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 を表力ある家族参加型イベントを開催する。 話し合いで決まったことが定着しない。 話し合いで決まったことが定着しない。 正者する前に他の案がいろいろ出てくなど定着しないのか、どうしたらいいのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。 マニュアル(BCP等)の周知 職員研修でとどまってるケースがあるので、防災イベントなどを活用して周に工夫し、連携がとれるようにして			工夫していることや意識的に行っ	っている取組等	さらに充実を図るための取組等
プロには前日に気になった事を話し合いを決めている。 (一人一人の対応をPDCAサイクルをまわす) はている。 コース では、	年単位で計画的に毎月5領	頁域に沿った	全体の課題から話し合い語	計画的に支援	どんな意見でもすくいあげるように
翌日には前日に気になった事を話し合 話しやすい環境をつくり、ミーティン 他事業所などの交流を図るようにすいその日の対応を決めている。 (一人一人の対応をPDCAサイクルをまわす) 1 8歳になった時に自律している姿を 意識して支援している。 事業所の課題や改善が必要だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること な、魅力ある企画が立てれていない を開催が少な く、魅力ある企画が立てれていない まかったことが定着しない 定着する前に他の案がいるいろ出てく る なぜ定着しないのか、どうしたらいいのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。 マニュアル (BCP等) の周知 職員研修でとどまってるケースがある 保護者へ概要や、内容が伝わるようので、防災イベントなどを活用して周 に工夫し、連携がとれるようにして	│	容に入れて決	できる会議を設けている		している。保護者参加型イベント開
□ いその日の対応を決めている。 (一人	¹ めている。				催をする
□ いその日の対応を決めている。 (一人	<u> </u> 翌日には前日に気になっ	た事を話し合	 話しやすい環境をつくり、	ミーティン	 他事業所などの交流を図るようにす
す)					
T 8歳になった時に自律している姿を	² 一人の対応をPDCAサイク	7ルをまわ	けている。		
意識して支援している。 ようにしている。 (本事業所の調母・(*) だと思われること **事業所の問題や改善が必要だと思われること **事業所の問題や改善が必要だと思われること **事業所として考えている課題の要因等 **改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 ** 数書に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 ** 数力ある家族参加型イベントを開催 する。 (保護者間の交流がない。 ** 家族参加型のイベントを開催が少な く、魅力ある企画が立てれていない する。 話し合いで決まったことが定着しない 定着する前に他の案がいろいろ出てく なぜ定着しないのか、どうしたらいいのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。 マニュアル (BCP等) の周知 職員研修でとどまってるケースがあるので、防災イベントなどを活用して周 に工夫し、連携がとれるようにして	す)				
#業所の弱み (*) だと思われること 事業所として考えている課題の要因等 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 家族参加型のイベントを開催が少な く、魅力ある企画が立てれていない おある家族参加型イベントを開催する。	18歳になった時に自律	している姿を	子どもたちの話し合いをえ	大切に設ける	子どもたちの意見も取り入れるよう
**事業所の課題や改善が必要だと思われること 事業所として考えている課題の要因等 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 な	意識して支援している。		ようにしている。		にしている。
**事業所の課題や改善が必要だと思われること 事業所として考えている課題の要因等 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 な	3				
**事業所の課題や改善が必要だと思われること 事業所として考えている課題の要因等 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 な					
**事業所の課題や改善が必要だと思われること 事業所として考えている課題の要因等 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 な					
ままし合いで決まったことが定着しない 定着する前に他の案がいろいろ出てくる なぜ定着しないのか、どうしたらいいのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。 マニュアル(BCP等)の周知 職員研修でとどまってるケースがあるので、防災イベントなどを活用して周 保護者へ概要や、内容が伝わるようにして			事業所として考えている課題	の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1話し合いで決まったことが定着しない 2定着する前に他の案がいろいろ出てく るなぜ定着しないのか、どうしたらいいのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。マニュアル (BCP等)の周知職員研修でとどまってるケースがあるので、防災イベントなどを活用して周保護者へ概要や、内容が伝わるようにして	保護者間の交流がない。				魅力ある家族参加型イベントを開催
2 る いのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。 マニュアル (BCP等) の周知 職員研修でとどまってるケースがあるので、防災イベントなどを活用して周に工夫し、連携がとれるようにして			く、魅力ある企画が立て	れていない	する。
2 る いのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。 マニュアル (BCP等) の周知 職員研修でとどまってるケースがあるので、防災イベントなどを活用して周に工夫し、連携がとれるようにして					
2 る いのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。 マニュアル (BCP等) の周知 職員研修でとどまってるケースがあるので、防災イベントなどを活用して周に工夫し、連携がとれるようにして					
2 るようにしていく。 マニュアル (BCP等) の周知 職員研修でとどまってるケースがある 保護者へ概要や、内容が伝わるようので、防災イベントなどを活用して周 に工夫し、連携がとれるようにして	話し合いで決まったことが 	が定着しない		ろいろ出てく	
マニュアル (BCP等) の周知 職員研修でとどまってるケースがある 保護者へ概要や、内容が伝わるよう ので、防災イベントなどを活用して周 に工夫し、連携がとれるようにして	2		ත		
ので、防災イベントなどを活用して周 に工夫し、連携がとれるようにして					るようにしていく。
	マニュアル(BCP等)のF	 司知	職員研修でとどまってるな	ケースがある	保護者へ概要や、内容が伝わるよう
			ので、防災イベントなどを	を活用して周	に工夫し、連携がとれるようにして
知します。玄関、ホームページで周知 いくことが必要である、	3		知します。玄関、ホームへ	ページで周知	いくことが必要である、
する。			する。		

_		公表(保)	-++ -1 - 6-6- 1							
		AX 床i	護者等かり	らの事業所	所評価の負	集計結果				
_	f名	ポノポノランド				公表日	年月	В		
						利用児童数	2025年	7月 1日	回収数	3
_		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意	見を踏まえた対応
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3							
^現 境・	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2			1				が固定されやすいので、職 るように組んでいき交流を します。
整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1						
	4 1	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3							
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	3							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか 。	3							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	3							
適切を接の提供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す 支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	3							
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこども と活動する機会がありますか。	1			2				ますが実行できていませ 考慮しながら実行に移せる す。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました か。	3							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1					事業所への見ま	学は積極的に声をかけてい
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況 について共通理解ができていると思いますか。	3							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1						
者へ	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3							
明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が 設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			2			年末に1回交流回を計画してい	流会を設けています。年 2 います。
	10 I	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1						

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	2	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	2		災害時の避難先についてなどの説明は 受けているが、マニュアルまであるかは わからないため。	口頭説明だけなく、マニュアルも見せな がら行います。
非常時等		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	1	1	1		夏休みに計画しています。
の対応		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思います か。	2	1			
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1			
	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	2		1		
満足	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	1			

						(別紙5)
		公表事業	±==1- +>1		⇒ (平 4 田	
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	別にあり	┬─── ける日C	評価結果 	
事第	美所名	ポノポノランド			公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
					シンプルな空間を意識してなるべく物を置か ないようにして空間を広くとるようにしてい	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		る	
			0		専門職の配置を心がけ、余裕のある人員配置	 専門職の強化
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	_		にしています。	
環		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になってい	6		トイレの環境	トイレの手すり設置
境・ 体制	3	るか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリ			手すりの代わりとなるもので対応している	
整備		一化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 	5	1		 清潔を保持するために児童に協力してもらえ
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。ま			用して空間を清潔に保つようにしている	るように工夫する
		た、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認め			空間を利用してその時の状況に応じて対応するようにしています。(昼寝の時間等の部屋	
		られる環境になっているか 。	6		の確保等)	
		業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)			定期的にミーティングを行い各児童の目標の 一致を図っています。	日々の変化が速いため定着する前に変更が多くなりまとまらない時があるので経時に教諭
	6	に、広く職員が参画しているか。	6			できるように工夫が必要
		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設			保護者向け評価表と独自のアンケートを実施 し、業務内容改善につなげている。	
	7	けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		し、未切り合成合に フない ている。	
₩₩₩					ミーティングでの発言を大切にし肯定的に業	 意見が言いやすいい環境の維持、工夫
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。			務につなげていくようにしている。	
			6		外部の方の見学を積極的に取り入れ風通しの	今後の検討課題である。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげてい るか。			良い事業所にしている。	
				6	eーラーニングの導入や外部研修への案内・	 伝達講習会の体制を整備する必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等 で研修を開催する機会が確保されているか。			積極的な参加を促している。	
		CMIP CIME / GIZZA REPRETICE OF GIZ	6		ホームページで公表しています。	
	11	 適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。			The second secon	
			6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を			アセスメントやモニタリング会議・個別支援 会議を開いて職員で共有して制作していま	
	'-	作成しているか。	6		す。	
	40	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく。スピカの支援に関わる際島が共通理解の下で、スピカ			ミーティングにて共通理解するように進めて います。チャットで見直しもしやすい環境に	
	13	けでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		工夫しています。	
		 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行わ				日々の変化が速いため定着する前に変更が多くなりまとまらない時があるので経時に教諭
	14	れているか。	4	2	を共有するように工夫している。	できるように工夫が必要
		こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー			他の関係機関と連携しながらインフォーマル	
	15	マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			なアセスメントを使用する等により確認している。	
			5	1	アセスメントやモニタリングに基づいて支援	「移行支援」及び「地域支援・地域連携」が
		支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行			に必要な項目を設定しています。	今後の課題
	16	支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏ま えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上				
適切		で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2		
な支 援の	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			全体での月の課題を決めて意見を出しあう事 から始めている	
提供	17	/13 / ロノノムツエ米でノ ^ー ム [1] つ (いるが。	6			
					月の課題から活動内容を決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
		1	0		1	<u> </u>

				Ī		変化が激しいときに支援計画が遅れないよう
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて 児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		1人がににいて と対がしている。	にする工夫が必要である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	- U		朝のミーティングで確認している	
	21	ているか。 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援終了後でできない時は、朝に振り返りの 時間をも設けている。	
		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善	5	1	記録のダブルチェックをするようにしてい	記録を振り返れるシステムの使い方の共有
	22	につなげているか。	6		న .	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		必要に応じて判断して実施している	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		その都度の会議で必要な情報を持っている職員が対応するように声掛けしている	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		即自対応するようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	会議以外でも、送迎の際に情報交換を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	必要に応じて実施している	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
関係機関		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
や保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
~_33	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極 的に参加しているか。				
		(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		今後の検討課題
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況 や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎の際に情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	-	6		今後の検討課題
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	6		見学時や契約時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリング等で意向を確認して反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護 者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			

参照的に、水海中からの子中で収入が上げっている。 3 3 3 3 3 3 3 3 3						必要に応じて実施しています。	定期的なもには今後の検討課題
2		38					
次面の分の設定と記事することが、特定性を完全は値でも高にしているか。			し、国談や必要な明言と文抜を1]つているか。 		6		
大学のようのできませんでは、またとので、株式会社が予め掛けるとしているか。 スペントを辞価しています。 スペントを存在しているが、 スペントを辞価しています。 スペントを辞価しています。 スペントを存在しているが、 スペン・カル・ スペン・カル・カル・カル・カル・ スペン・カル・カル・カル・カル・カル・カル・カル・カル・カル・カル・カル・カル・カル・						 │忘年会など家族、きょうだいが参加できるイ	年2回できるようにします。
1	保護	39	り、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				720 (2 08) (0 8)
2 だもや用落されらの耐寒や年入れについて、対比の体料を整備 するとともは、こととものは、こととものは、こととものは、対して発生しているか。	者へ		るか。		0		
10	の説			3	3		
対理的に対域であるができます。	明等	40	するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった				
1			場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
142 村人情報の取扱いに十分容別しているか。		41	より、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者	3	3	SNSでの発信や個別に送っています。	
42 個人情報の取扱いに十分智慧しているか。 6							
43		42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			NATION OF THE PROPERTY OF THE	
44 #東京の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業運営 4 2 名種マニュアル、原金両対応マニュアル、豚型マニュアル、豚型マニュアル、豚型マニュアル、豚型マニュアル、豚型マニュアル、豚型マニュアル、豚型マニュアル、豚型や乳酸を実施しているか。 5 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3				б			
44 事業所の音等に地域社長を招待する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。		43		6			
44 事業所の音等に地域社長を招待する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。				-			今後の検討課題
45		44			0		
45				4	2		
46 業務機続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、殺出その他必要な訓練を行っているか。 6 類的時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。 2 数の時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。 6 類的時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。 2 を全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な 3 数据を構造しる等、安全管理が分された中で支援が行われている。 6 数型に応じて家族に確認している。 2 を全部連集しる等、安全管理が分された中で支援が行われている。 6 数型に応じて家族に確認し周知している。 2 を全部画に基づく取組内容について、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 6 とヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について、対対をしているか。 5 とヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について、対対をしているか。 5 と中リハットがあった際は、ミーティングを実施し再発防止に努め、共有しています。 5 を非所内研修とe・ラーニングで実施しています。 5 を非所内研修とe・ラーニングで実施しています。 5 を非所内研修とe・ラーニングで実施しています。 5 まずに記載して説明しています。 5 まずに記載して説明しています。 5 5 5 5 5 5 5 5 5		45	染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するととも	6			保護者への周知
46 業務機続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、殺出その他必要な訓練を行っているか。 6 類的時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。 2 数の時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。 6 類的時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。 2 を全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な指置を講じる等、安全管理が小分された中で支援が行われている。 6 数の方式を対している。 5 を全計画を作成し、安全管理が小分された中で支援が行われている。 6 を全計画を作成し、安全管理が小分された中で支援が行われている。 6 を全管理がいる。 6 を全管理がいる。 6 を全計画に基づく政組内容について、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく政組内容について、家族等へ周知しているか。 6 とヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について、技術をしているか。 5 とヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について、接続しているか。 5 を持を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 5 ま事業所内研修とe・ラーニングで実施しています。 5 ま事業所内研修とe・ラーニングで実施しています。 5 ま事業所内研修とe・ラーニングで実施しています。 5 ま事業所内研修とe・ラーニングで実施しています。 5 ま事業所内研修とe・ラーニングで実施しています。 5 5 5 5 5 5 5 5 5				-		 計画的に進めています。	今後、児童の特性に合わせカスタマイズして
147 事前に、脳栗や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。 さる一覧表を作成している。 さる一覧表を作成している。 さる一覧表を作成している。 さる一覧表を作成している。 必要的時に確認している。 必要的時に確認している。 必要的時に確認している。 必要に応じて確認で さる一覧表を作成している。 でる一覧表を作成している。 でる一覧表を作成している。 でる一覧表を作成している。 でる一覧表を作成している。 でる一覧表を作成している。 でる一覧表を作成している。 でる一覧表を作成している。 でながら実施している。 でながら実施している。 でながら実施している。 でながら実施している。 必要に応じて家族に確認し周知している。 必要に応じて家族に確認し周知している。 であがら実施している。 であがら実施している。 であがら実施している。 であがら実施している。 であがら実施している。 であがら実施している。 であがら実施している。 であがら実施している。 であがら実施している。 でも可しています。 でもでは、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一		46		6			
47						契約時に確認している。必要に応じて確認で	
248 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対		47		6		きる一覧表を作成している。	
1						 契約時に確認している。必要に応じて確認で	
#		48					
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	بال عاد			6		- A M	
1	時等	49	措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている				
20	応		W · 0	6			
Eヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		50				必要に応じて家族に確認し周知している。	
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				6		11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11.	
52		51		E	4		
52				5	1	古光式内TT版は、コーストディウナー・・ナ	
とのような場合にやむを侍す身体拘束を行うかについて、組織的		52		6			
			どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的			計画書に記載して説明しています。	
「、児里発達文援計画に記載しているか。		53	に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				

				(別紙3)
	公表	事業所における自己評価総		
○事業所名	ポノポノランド			
○保護者評価実施期間	:	2025年 6月 10日	~	2025年 7月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間		2025年 6月 10日	~	2025年 7月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日		2025年 7月 20日		
○分析結果				
事業所の強み(*)だと思れ *より強化・充実を図ることが期		工夫していることや意識的に行っ	っている取組等	さらに充実を図るための取組等
年単位で計画的に毎月5領	夏域に沿った	全体の課題から話し合い語	計画的に支援	どんな意見でもすくいあげるように
テーマを特化して活動内容	容に入れて決	できる会議を設けている		している。保護者参加型イベント開
」 ¹ めている。				催をする
 翌日には前日に気になっ;	た事を話し合	 話しやすい環境をつくり、	ミーティン	 他事業所などの交流を図るようにす
		グ以外でも話し合いができ		
² 一人の対応をPDCAサイク	フルをまわ	けている。		
す)				
18歳になった時に自律	している姿を	子どもたちの話し合いをえ	大切に設ける	子どもたちの意見も取り入れるよう
意識して支援している。		ようにしている。		にしている。
3				
	Τ			
 事業所の弱み(*)だと思れ	つれること			
*事業所の課題や改善が必要だと		事業所として考えている課題	夏の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
保護者間の交流がない。		家族参加型のイベントを原		魅力ある家族参加型イベントを開催
		く、魅力ある企画が立て	れていない	する。
ゴームいった ナラリ	が完美したい	ウ美オス並に似る安が 、	フハフリーノ	ナッチウ羊し ナハハのよん バミしょ さい
話し合いで冴まったことだ 	か疋有しばい		らいつ出(く	なぜ定着しないのか、どうしたらい
2		る		いのかを考え決めたことは定着でき るようにしていく。
マニュアル(BCP等)のJ	 刮知	 職員研修でとどまってる?	ケースがある	保護者へ概要や、内容が伝わるよう
		ので、防災イベントなどを	を活用して周	に工夫し、連携がとれるようにして
3		知します。玄関、ホームへ	ページで周知	いくことが必要である、
		する。		

								(別紙4)
		公表	護者等か	らの事業所	所評価の賃	集計結果		
事業	所名	ポノポノランド				٨=٦	4.0 0	
							年月日	
				どちらとも		利用児童数		回収数 8
		チェック項目 	はい	いえない	いいえ	わからない	ご意見 スペースが狭く感じる	ご意見を踏まえた対応 整理整頓を心がけます。
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
			7	1				
環 境・	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1				
体制整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います	· ·	<u> </u>				
	4	か。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1				
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	8					
		こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成さ れていると思いますか。		2				
適切 な援の 提供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		2		1	利用日数が少ないのでまだわかりません	•
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
•	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	8					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機 会がありますか。	2	2	1	2		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		1		_		
٠	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1		1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況 について共通理解ができていると思いますか。	7	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	4				
保護者へ	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が 設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	2	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		2		2	相談したい旨を伝えるとすぐに場を設けてくださるので助かります。	この体制を維持できるように努めていき ます。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	7	1			
		定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	2	1	ネットを見ていないので情報が発信されているかわからない。	紙媒体の情報発信も検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1			
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6		2	入所の際に説明してもらっている。	
非常時等	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	2	3		
の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1	1		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7		1		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6	2			
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8				
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				

						(別紙5)
		公表事業	所におけ	ける自己詞	評価結果	
毒型						
尹未	新名				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		シンプルな空間を意識してなるべく物を置かないようにして空間を広くとるようにしている	
•	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		専門職の配置を心がけ、余裕のある人員配置にしています。	専門職の強化
環 境・ 体制	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	-		トイレの環境 手すりの代わりとなるもので対応している	トイレの手すり設置
整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	清掃、消毒、空気清浄機、オゾン発生器を使用して空間を清潔に保つようにしている	 清潔を保持するために児童に協力してもらえ るように工夫する
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		空間を利用してその時の状況に応じて対応するようにしています。(昼寝の時間等の部屋の確保等)	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		定期的にミーティングを行い各児童の目標の 一致を図っています。	日々の変化が速いため定着する前に変更が多くなりまとまらない時があるので経時に教諭 できるように工夫が必要
•	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者向け評価表と独自のアンケートを実施 し、業務内容改善につなげている。	
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。			ミーティングでの発言を大切にし肯定的に業 務につなげていくようにしている。	意見が言いやすいい環境の維持、工夫
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		6	外部の方の見学を積極的に取り入れ風通しの 良い事業所にしている。	今後の検討課題である。
٠	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	6	o o	積極的な参加を促している。	伝達講習会の体制を整備する必要がある。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページで公表しています。	
•	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計 画を作成しているか。			アセスメントやモニタリング会議・個別支援 会議を開いて職員で共有して制作していま す。	
°	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		ミーティングにて共通理解するように進めて います。チャットで見直しもしやすい環境に 工夫しています。	
°	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援 が行われているか。	4	2		日々の変化が速いため定着する前に変更が多くなりまとまらない時があるので経時に教諭 できるように工夫が必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1	他の関係機関と連携しながらインフォーマル なアセスメントを使用する等により確認して いる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			アセスメントやモニタリングに基づいて支援に必要な項目を設定しています。	「移行支援」及び「地域支援・地域連携」が 今後の課題
適切	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	全体での月の課題を決めて意見を出しあう事から始めている	

体又					日の細膜から活動内容を決めている	
援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		月の課題から活動内容を決めている 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放 課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	0		状況に応じて対応している。	変化が激しいときに支援計画が遅れないようにする工夫が必要である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	6		朝のミーティングで確認している	
	21	るか。 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	 支援終了後でできない時は、朝に振り返りの 時間をも設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に	5	1	記録のダブルチェックをするようにしてい る。	記録を振り返れるシステムの使い方の共有
		つなげているか。 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し	6		必要に応じて判断して実施している	
	23	の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		「4つの基本活動」を複数組み合わせてプロ	①日常生活の充実と自立支援のための活動②
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	6		グラムを作成しています。	多様な遊びや体験活動③地域交流の活動④こ どもが主体的に参画できる活動の活動を全職 員が理解でいるようにする。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		日々の活動で自己決定支援を意識して行っています。	職員が自己決定に手を出しすぎないように注 意する。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		その都度の会議で必要な情報を持っている職員が対応するように声掛けしている	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		即自対応するようにしている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っているか。	6		即自対応するようにしている。日々の送迎での情報共有を意識しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	適時対応しています。	
関係 機関 や保	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	6		以西に広じて社広	
護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			必要に応じて対応	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	必要に応じて個別相談しています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		6		今後の検討課題である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や		6	送迎時やSNSを利用して常に情報共有できる	今後の検討課題である。 今後も情報共有しやすい環境をつくっていき
	0.5	課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等) や家族等の参加できる研修の機	6		体制をとっています。	ます。
	35	ラム (ヘアレフト・トレーニング等) や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行	3	3	家族も参加できるイベント開催したり、個別相談を必要にに開催しています。	いつでも個別相談や事業所見学ができる事を 情報提供していきます。
	36	連宮規侯、文援ノログラム、利用者負担等について」等な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意	6		契約時に説明している。 モニタリング等で意向を確認して反映してい	質問には随時対応しています。
	37	版課後等アイリーと人提供を作成する際には、こともや保護者の息思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		ます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
			6		必要に応じて個別相談しています。	
保護者へ説	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	家族も参加できるイベント開催したりしています。	
明等		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。	6		/士生 幸ケラ・ブェンキ・オー	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		体制整えています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		周知するように全体共有しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。	4	2		今後の検討課題
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルがいつでも見れるように配置 し、定期的に訓練を実施している。	保護者への周知
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		計画的に進めています。	今後、児童の特性に合わせカスタマイズして いく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認し ているか。	6		契約時に確認している。必要に応じて確認で きる一覧表を作成している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応 がされているか。	6		契約時に確認している。必要に応じて確認で きる一覧表を作成している。	
非常時等の対応	1	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措 置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理について、日々の活動の中で共有し ながら実施している。	
,,,,	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全 計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		必要に応じて家族に確認し周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について 検討をしているか。	5	1	ヒヤリハットがあった際は、ミーティングを 実施し再発防止に努め、共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を しているか。	6		事業所内研修とe-ラーニングで実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に 決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放 課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		計画書に記載して説明しています。	